

浦戸湾の自然誌

第22号

Wildlife in Urado Estuary

No. 22

イソギンポ科 トサカギンポ

Omobranchus fasciolatoceps



2004年4月20日灘で採集したトサカギンポ。

全長わずか7cmほどの小魚ですが、とにかく目立ちます。一度見たら忘れられない顔をしています。黄色をおびた体と鱗はもちろんですが、頭部の派手な縞模様と頭のとっぺんの皮弁が本種の最大の特徴です。頭部に皮弁が発達するイソギンポ科魚類は少なからずいるのですが、トサカギンポほど立派な頭部皮弁を持つ魚は他にいません。

イソギンポ科魚類は内湾や岩礁性海岸とそこに形成されるタイドプールに生息します。大きく分けると、鰓孔（さいこう）が大きく、左右の鰓膜（さいまく）が頭部下面で